

Mado 窓



心臓血管外科学教授就任および 心臓血管外科の紹介

北里大学医学部心臓血管外科学・教授 宮地 鑑

このたび平成22年8月1日付けにて、医学部心臓血管外科学・主任教授を拝命いたしました。私は昭和62年3月に東京大学医学部を卒業の後、東京大学医学部附属病院第一外科（一般外科）に入局、約4年間にわたり、多くの一般消化器外科手術症例を執刀しました。将来は消化器外科に進むつもりでおりましたが、胸部外科研修中に感じた心臓外科手術への興味が捨てきれず、東京大学胸部外科に入局し直しました。その後、東京大学病院胸部外科、国立小児病院（現在の国立成育医療研究センター）心臓血管外科等を経て、2年間の米国臨床研修中に成人・小児心臓外科手術を多く経験しました。平成12年4月より3年間、神奈川県立こども医療センター心臓血管外科にて多くの小児心臓手術を執刀し、平成15年9月1日に旧胸部外科学・講師として本学に赴任してまいりました。その後、約7年間にわたり小児心臓外科責任者として、手術成績の向上と症例数の増加を目指してまいりました。また、本年2月には先進医療として本邦で初めて内視鏡下動脈管閉鎖術を導入しました。

北里大学病院心臓血管外科の歴史は古く、昭和45年の大学病院開院時の胸部外科石原教授以来、40年の歴史があります。その後、第二代主任教授・吉村博邦先生が胸部外科を平成19年4月に呼吸器外科と心臓血管外科に単位を分けられ、小原邦義先生が初代・心臓血管外科教授に就任されました。その後を継いで、この度、私が第二代心臓血管外科教授に就任いたしました。

北里大学病院心臓血管外科は成人心臓外科手術と小児・先天性心臓外科手術がバランスよく行われている神奈川県内唯一の施設であり、研究・臨床・教育に大きく貢献してまいりました。この数年間の手術総数でも県内五指に入り、特に私の専門である小児心臓手術は県立こども医療センターに次いで第二位の症例数であります。

医師不足など外科系診療科を取り巻く状況は厳しいものがありますが、特に、心臓血管外科では、多くの大学病院で新入医局員がほとんどいないのが現状です。当科は県内4大学病院で最も多い、この4年間に7人の入局者がありました。この豊富な人的資源により新病院開院にむけて、北里大学心臓血管外科は循環器内科、小児科、麻酔科、救急診療科と協力してさらなる症例数増加と手術成績向上を目指したいと思えます。現在の心臓血管外科手術はいわば総力戦であり、外科医の手術技能だけでは高齢者・新生児や合併疾患を持つ重症患者を救うことは困難です。診療各科医師のみならず、看護師、臨床工学士、放射線部門、検査部、輸血部、薬剤部等、オール北里の総力を結集して、地域医療に貢献してまいりたいと思えます。

（みやじ かがみ：心臓血管外科学 教授）

診療情報管理課とDPC業務について



診療情報管理課 佐藤 昭弘

「北里大学病院 診療情報管理課（旧称病歴センター部）」は、昭和46年の開院と同時に設置されました。診療録（カルテ）が医師の独占的所有物であった時代に、診療情報の重要性に着目し、大学病院としては全国で初めて外来診療録の中央管理を実現するなど、今日まで診療、教育、研究の充実・発展を支える基盤としての役割を果たして参りました。

現在当課の診療情報管理は、診療録の保管管理を中心に①量的・質的 point check ②傷病名等のコーディング③地域・院内がん登録④DPCコーディング⑤スキャナーによる各種帳票の読み取り⑥各種帳票の整備等の業務により構成されています。これらの業務は、医療の進展とともに変遷しており、当院においても、現在電子カルテの導入を進めており、紙媒体診療録がなくなることで当課の業務も大きく変化することが予想されます。

次に、今後の主要業務のひとつになるであろう「DPC (Diagnosis Procedure Combination)」について述べさせていただきます。DPCとは、医療資源の必要度に基づく診断群分類であり、それ自体は支払い方式を意味しません。わが国では、この診断群分類を1日当りの支払い方式 (Per-Diem Payment System : PDPS) として、平成15年4月より主に特定機能病院（大学病院本院、ナショナルセンター本院等）を対象に導入が開始されました。現在では、一般病床のおよそ50%に導入されています。また、平成22年末に診断群分類としてのDPCと混同されないよう、診断群分類に基づく1日当りの支払い方式をDPC/PDPSと呼ぶことになりました。この支払い方式を含むDPCの体系は、医療の質の向上や病院の経営改善に大きく寄与することが期待されており、今後はDPC分析に関する当課の役割もより重要になるものと考えます。

DPC/PDPSは、病名の選択によって病院の収益が大きく左右される仕組みでもあります。そのため当課では開始準備業務として、主に医師が病名を入力する際

に使用する病名マスターの整備を担当しました。当課は開院当時から臨床病名のコーディングを行なっていましたので、「ICD-9」を利用した当院独自の病名マスターから「ICD-10」を使用した標準病名マスターへの変換作業等を担当しました。また、開始後は病名のマスター管理及び再入院調査を主に担当してきました。

平成21年度に入り、「正確なデータを提出することへの評価、部位不明・詳細不明コードの発生頻度に対する評価」が重要視されるようになり、当課でも医事課と連携し、退院時の部位不明・詳細不明コードの確認業務を開始しました。その結果、当課での業務開始以前は約40%以上を占めていた部位不明・詳細不明コードも約10%以下に抑制することができ、適正なDPC請求を行えるようになりました。

DPCコーディングの決定は医師が行いますが、ICD-10を理解し、適切な病名を選択することが出来る医師は少ないのが現状です。その為、当課がDPC業務へ積極的に参画し、医師をサポートすることで、請求漏れやアップコーディング（請求過誤）の抑制、退院当日会計の実施による患者サービスの向上、正確なDPCデータの蓄積及び分析による医療の質の向上と経営改善への貢献等、計り知れない効果を生むことが出来ます。その為にはコーディングを始めとするDPC業務の知識習得やスキル向上、経験豊富な職員の技術継承による人材育成を図ることが当課の責務であり、更なる努力をしていく所存であります。

今後とも診療情報管理課に対するご指導、ご協力の程宜しくお願い致します。

（さとう あきひろ：診療情報管理課）

医療廃棄物と環境



事務部環境整備課 座間 弘和

近年、地球温暖化対策として温室効果ガス削減の重要性が叫ばれるようになり、廃棄物削減についても国民の環境意識の高まりにより大量生産・大量消費の考え方が変化しつつあります。一般家庭から排出される家庭ゴミも資源化への分別が積極的に行われ、国民一人当たりの家庭ゴミ排出量も平成12年をピークに年々減少が続いています。

そんななか、一部変化はあるものの医療分野では依然として医療技術の高度化や効率化及び感染対策を含め医療の安全を図るため、更なるディスポ化が進んでいるのも事実です。

当院では、職員一人一人のコスト意識の高さや分別の徹底により、他の大学病院に比べ1ベッド当たりのゴミ排出量はかなり少なくなっています。

しかし、職員の減量化の努力にも係わらず廃棄物発生量は年々増加し、特に感染性廃棄物（特別管理産業廃棄物）は毎年10%近く増加しています。（グラフ参照）

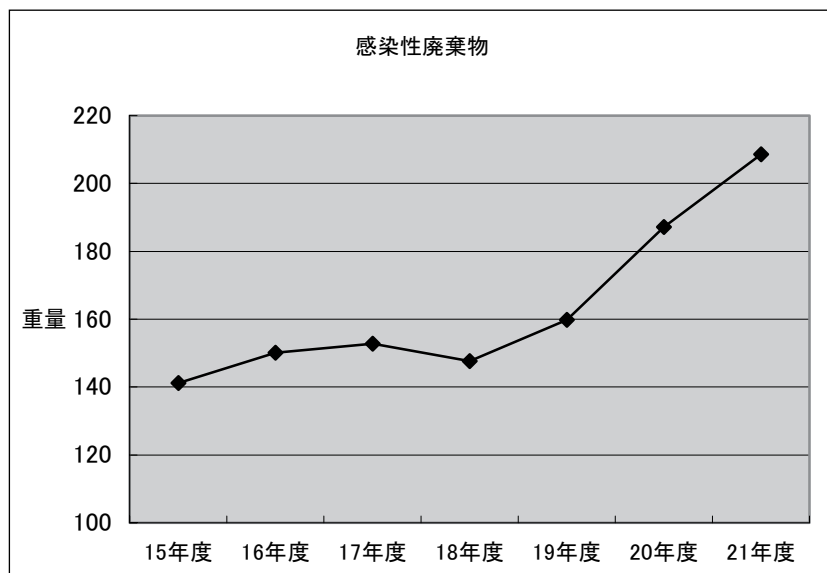
医療分野では、数々のディスポ製品が新たに開発

され手術材料のキット化やセット化による大量消費の方向に進んでいます。しかし、その製品が本当に必要なものか医療の安心・安全を担保しつつ、環境負荷も考慮に入れ導入していくことが廃棄物減量化に対して分別と共に重要なこととなります。

また、当院で発生した医療廃棄物処理は全量外部委託しており、優良処理委託業者の選択が重要となります。そこで、焼却処理委託施設選定にあたっては焼却処理後の最終処分量がより少なく廃熱を利用した発電など、環境負荷の少ない先進的でより安全で確実な産業廃棄物中間処理施設を利用しています。（CO₂発生量削減証明書参照）

廃棄物処理は「安かろう悪かろう」に誘導されやすく、廃棄物排出元である病院も適正処理はもちろん循環型社会形成に向け協力していくことが重要と考えています。

北里大学病院では、今後も環境に配慮した医療活動を行うとともに医療の質の向上に努力していきます。（ざま ひろかず：環境整備課）



年度別感染性廃棄物排出量 (北里大学病院)



CO₂発生量削減証明書

“内科事前予約サービス”のご案内

日頃より北里大学病院との病診連携にご理解ご協力をいただき御礼申し上げます。当院では、ご紹介いただいた患者様の待ち時間短縮のために、内科に限定して“紹介患者事前予約サービス”を実施しております。

当サービスでは、患者様の待ち時間の短縮による患者サービス向上と円滑な病診連携を目指しております。当サービスでは、地域の先生方より患者支援センター部病診連携担当者宛にお電話いただくとその場で予約をお取りする事が出来ます。その後は、専用の申込書「内科総合外来紹介患者事前予約申込書」と「診療情報提供書」を担当専用のFaxにお送りいただきます。

患者様は、予約日に「内科総合外来紹介患者事前予約の患者さまへ」と「診療情報提供書」を初診受付に提出後、内科で診察を開始します。

当サービスを利用されない場合でも、通常の診療情報提供書による紹介患者の受付は午前11時まで行っておりますので患者様にご案内をお願い申し上げます。

詳しくは、下記の担当までご連絡をお願い致します。

また、当院では、“検査サービス”（生理検査・核医学検査・CT/PET-CT等）も実施しておりますのでご利用くださいますようお願い申し上げます。

諸先生方の御利用をお待ちしております。

☆循環器内科の事前予約に限り、診療情報提供書のFaxは不要となっております。

事前予約枠

☆9：00～10：00 各科3枠

診療科：消化器・内分泌・循環器・腎臓・血液・神経・膠原病リウマチ・呼吸器・総合診療

当日持参品

☆健康保険証・診察券（過去に当院の受診歴がある方）

☆内科総合外来紹介患者事前予約の患者さまへ・診療情報提供書

事前予約サービスの申し込み・問い合わせ先

北里大学病院 患者支援センター部 病診連携担当

☆内科紹介患者事前予約サービス依頼 電話 042-778-9988

☆内科紹介患者事前予約申込書送付先 Fax 042-778-9599

その他

☆「内科総合外来紹介患者事前予約申込書」と「内科総合外来紹介患者事前予約の患者さまへ」は、本紙の綴じ込み用紙をコピーしてご利用ください。



〒252-0375 神奈川県相模原市南区北里1-15-1
北里大学病院 患者支援センター部
TEL 042-778-9988 FAX 042-778-9599
<http://www.kitasato-u.ac.jp/khp/>
E-mail / shoukaiw@kitasato-u.ac.jp

内科総合外来紹介患者事前予約の患者さまへ

予約日 【 月 日 午前 時 分】

来院場所

正面玄関をお入りいただき、すぐ左手の初診受付に、

「紹介患者事前予約で来ました」と必ずこの用紙を
ご提出下さい。

優遇診療となります。

診察当日の持ち物

- ①保険証
- ②診察券（北里大学病院に以前おかかりになられた方）
- ③紹介状（診療情報提供書）

初診の方

ご本人の郵便番号・現住所・電話番号
配偶者又は保護（義務）者の氏名・住所・電話番号・続柄・郵便番号
自宅以外の連絡先（勤務先等）氏名・住所・電話番号・郵便番号
をお伺いします。

北里大学病院・「内科総合外来」紹介患者事前予約申込書

平成 年 月 日

| | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---------|---------|-------|------|------|-------|--------------|---------------|-------|--|--|
| 北里大学病院 | 初 診 | — — | | | | | 新 規 | | | | |
| 登録番号 | 受診有 | | | | | | | | | | |
| (ふりがな) | | | | | | 変 更 | | | | | |
| 患者氏名 | 様 | | | | | | | | | | |
| 生年月日 | M. T | | | | 男 | キャンセル | | | | | |
| | S. H | | | | 女 | | | | | | |
| 現住所 | 〒 | | | | | 搬送方法 | | | | | |
| 患者様連絡先 電話番号等 | — — | | | | | 寝 台 車 | | | | | |
| | | | | | | 救 急 車 | | | | | |
| 受診日 | 月 日 () | | | 時 間 | | 時 分 | | | | | |
| 紹介元 | ご住所 | | | | | | 担当者 ご氏名 | 医師・看護師 受付他 | | | |
| | 医療機関名 | | | | | | | | | | |
| | 診療科 | | | | | | | | | | |
| | 電話番号 | — — | | | | | | | | | |
| 内科総合外来 | 消化器内科 | 内分泌代謝内科 | 循環器内科 | 腎臓内科 | 血液内科 | 神経内科 | 膠原病・リウマチ感染内科 | 呼吸器内科 | 総合診療部 | | |
| 科 目 | | | | | | | | | | | |
| 指定医師名 | | | | | | | | | | | |

- ※指定医師があるときは、指定医師名欄にご記入下さい。
- ※ご予約は、病診連携室にお電話をお願いします。(医療機関の職員様からも可能です。)
- ※診療情報提書(紹介状)、保険証は、当日ご持参下さい。
- ※自動受付機を通さず初診カウンターで受付してください。

北里大学病院 患者支援センター部

TEL042-778-9988

FAX042-778-9599

2010.7.27